



FAR EAST SHIPPING & TRADING CO.,LTD.

極東海運実業株式会社

マーケットレポート 09/2001

Monthly Market Report 09/2001

ケープサイズバルカーは常々BOCIMARが必ずしも実需を背景としない投機的な動きをしてきたが、約50隻の支配船舶も今年の市況下落に耐え切れず、急速に船腹減少させている。昨今ドライ市況はケープサイズより発進し、パナマックス、ハンディ市況に反映し、世界的景気低迷の中で先が観えない。人為的な且つ投機的な市況の誘発は自然の理に敵いません。

DOUBLE HULL VLCCより発進したタンカー市況は絶好調で推移しているが、例えばプロダクトキャリアーまで上ずり、現在韓国の造船所だけで95隻、世界で200隻の受注残があると報じられている。既に傭船市況が軟化しているのは当然で、不安が募るばかり。VLCCは、代替も加味し実需に沿って発注されていると判断するが、プロダクトキャリアーのこれら受注残はどれも自然の理に敵いません。

自然の理とは人間が創造するものではなく、神様仏様のお決めになることで、人間はどうしようもなくこれを超えようとして頭を叩かれ、思い直すのではないのでしょうか。反省しても何時か又繰り返すのも人間の性なのではないでしょうか。



一方かかる時期に商機があることも事実で、神様仏様の許容する範囲で追及されるが賢明。とにかくデフレで傭船料も低いが仕入れ価格も安い。